

会報第45号



ふれあいネットワーク

# 八雲町社協だより

ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくりを目指して

## 八雲デイサービスセンター

プレゼントもってみんなでイエ〜イ



さざ波コーラスの素晴らしい歌声



クリスマス会



デイサービスセンターでは、毎月様々な行事を開催しております。興味のある方や利用してみたい方、見学や体験利用がありますので、当センターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

☎ 63 - 4110

デイサービスセンターまで

☆皆様のお越しをおまちして

おります☆



八雲そば研究会によるそば打ち実演

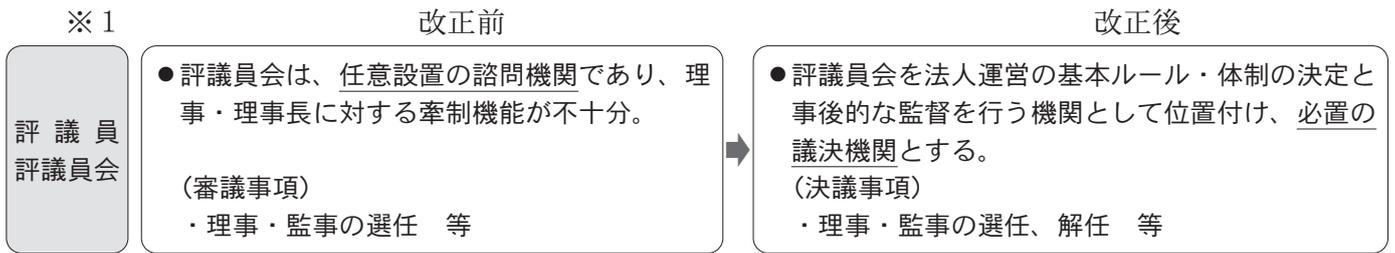
社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

# ◆ 評議員が新しく選任されました ◆

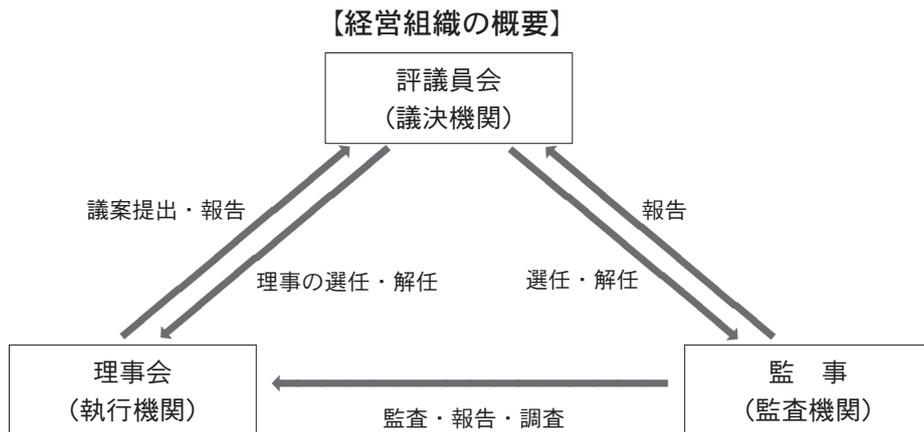
社会福祉法の改正が行われ、経営組織のガバナンス強化の観点から評議員会の在り方や評議員の選任方法が変更となりました。※1

評議員の選任については、改正前は理事会で評議員選任を定めていましたが、改正後は評議員選任・解任委員会を設置し選出することとなり、平成29年4月1日より新しく評議員が選任されました。

また、評議員会はすべての社会福祉法人に設置が義務付けされ、重要事項を決議する議決機関とされ、理事会への牽制機能を果たすものとされました。※2



※2



- |                 |                |                |                 |                 |                  |                    |                    |                    |                    |                      |                       |                        |                      |                     |                    |                    |                    |                    |                   |                   |                     |                     |                     |                    |                     |                     |                     |                     |                     |                     |
|-----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------------|-----------------------|------------------------|----------------------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 手塚利昭<br>(学識経験者) | 林玲子<br>(学識経験者) | 幸雅子<br>(学識経験者) | 笹川朋子<br>(学識経験者) | 芦田善雄<br>(学識経験者) | 河井教夫<br>(産業経済団体) | 藤本久子<br>(社会福祉施設団体) | 吉田律幸<br>(社会福祉施設団体) | 野田敏隆<br>(社会福祉施設団体) | 高橋葉隆<br>(社会福祉施設団体) | 千澤加代子<br>(女性団体連絡協議会) | 藤澤紀子<br>(ボランティア連絡協議会) | 片平スミ子<br>(ボランティア連絡協議会) | 相木明美<br>(子供会育成連絡協議会) | 鍛冶勝行<br>(身体障害者福祉協会) | 福井紀嗣<br>(老人クラブ連合会) | 松田喜一<br>(老人クラブ連合会) | 加藤芳夫<br>(老人クラブ連合会) | 高谷由紀美<br>(民生委員協議会) | 牧村正美<br>(民生委員協議会) | 竹口義徳<br>(民生委員協議会) | 水谷隆悦<br>(町内会等連絡協議会) | 伊藤悦司<br>(町内会等連絡協議会) | 油谷隆司<br>(町内会等連絡協議会) | 長澤満<br>(町内会等連絡協議会) | 黒島英行<br>(町内会等連絡協議会) | 八木和夫<br>(町内会等連絡協議会) | 山内辰利<br>(町内会等連絡協議会) | 安藤勝司<br>(町内会等連絡協議会) | 林野修司<br>(町内会等連絡協議会) | 知野修司<br>(町内会等連絡協議会) |
|-----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------------|-----------------------|------------------------|----------------------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|

任期…平成29年4月1日から  
平成33年定時評議員会(6月)迄

評議員 (敬称略・順不同)

平成29年度

## 八雲町社会福祉協議会事業計画

## 基本方針

八雲町社会福祉協議会は、「ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり」を基本理念に掲げ、地域住民・行政・町内会・福祉施設・福祉団体・ボランティア等との密接な連携と協働のもと地域福祉向上に取り組んでまいりました。

しかし、少子高齢化や住民生活の多様化さらには人口減少を背景に、様々な生活課題が引き続き顕在化しており、また、社会保障制度改革により各分野における諸改革が進み、地域住民を取り巻く環境は変化をしてくれています。

こうした中、誰もが安心して暮らし続けることができる地域社会を実現していくためには、地域住民相互の繋がり的高めあいととも生活課題を受け止めていく体制づくりと地域福祉活動が一層求められています。また、社会福祉法の改正により社協は高い公益性が求められる社会福祉法人として、地域福祉を推進する「協議体」として公益的な取り組みを推進することが期待されています。

そのため目的を共有するすべての個人・団体と協力・協働しながら、平成25年3月に策定した「新2期地域福祉実践計画」の着実な実践と、次に掲げる10項目の重点推進事業の展開に役職員一丸となって取り組んでまいります。

町からの受託事業を含め、社協が中心となっている在宅福祉サービス事業の実施に当たっては、事業効果が最大限発揮できるよう引き続き遂行に努めます。

八雲町社協は、デイサービス・居宅介護支援・訪問介護（熊石地域）の三事業の介護保険事業を開設していますが、近年は利用者の伸び悩みや、大幅な介護報酬の改正により厳しい経営環境にあり、本年度以降も改善の兆しが推し量れないことからサービス提供体制の改善が必要となっています。

社協が介護サービス事業を実施していることにより、介護やケアマネジメントの専門性が蓄積され、個別の相談に対し総合的かつ即応的に対応することができます。

そのため、こうした役割を確実に果たすためにも、各事業所の事業計画を基本に、引き続き信頼され親しまれる事業所として、利用者確保の一層の強化を社協らしい事業展開を図りながら、継続的な事業経営に努めてまいります。



## 重点推進事項

## (1) 地域実践計画の推進

5年計画（平成25年度～平成29年度）の新2期地域福祉実践計画については計画期間最終年であり、地域福祉実践計画推進委員会において計画の達成状況について検証するとともに、新3期地域福祉実践計画（仮称）について、関係団体等との協議により次期の計画策定に取り組んでまいります。

## (2) 地域福祉活動の推進

地域福祉活動は「みんなで支え合う」を理念とし、社協活動との協働を促進するため地域住民やあらゆる団体・組織と連携した住民福祉活動を推進し様々な課題解決のための取り組みを行ってまいります。

隔年実施の福祉懇談会は本年度で6回目となります。福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の意義や役割、また推進方法等について関係者と共有すべく、内容の充実に努めてまいります。

ふれあい広場の開催や乳酸菌飲料配布などの高齢者見守り事業の実施、更には町内会等の自主的な福祉活動への支援協力についても引き続き取り組むとともに、「地域包括システムの構築に向けた新たな地域支援事業」への対応について研究してまいります。

## (3) ボランティアセンターの運営と

## ボランティア団体との連携

地域福祉を推進するためには、ボランティアの協力は不可欠であります。

そのため、ボランティアスクールや青少年福祉活動体験事業の開催、ボランティア愛ランド北海道への参加を通じ、ボランティア活動の推進と育成を目指してまいります。また、各ボランティア団体の活動紹介や支援体制に引き続き取り組んでまいります。

ボランティアセンター（愛情銀行）事業は、主に町の補助金と町民の寄附金を基にボランティア団体への運営助成やボランティア育成事業を実施しています。このうち寄附金は減少傾向が続いていることから、より善意が広がる工夫によって事業の見直しを図ってまいります。

### (4) 生活困窮者自立支援活動の実施

経済困窮者や社会的孤立の状況にある生活困窮者に対し、「自立支援相談センターおしま」と連携し自立支援相談を行ってまいります。

また、低所得者や経済的な生活課題を抱える世帯に対し、生活一時金(社協単独事業)、生活福祉資金(北海道社協事業)の貸付と相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図ってまいります。

### (5) 在宅福祉活動の推進

町からの受託事業を中心に実施している、給食(八雲)、移送(八雲・熊石)、高齢者訪問(熊石)サービスなどの在宅福祉サービス事業については、利用者がより良い生活が送られるよう、サービスの質の向上に努めてまいります。町民の善意により寄贈された車椅子やベットの有効活用を行っている福祉用具無料貸付事業について引き続き実施してまいります。

### (6) 相談・権利擁護事業

心配事相談の多くは経済的要因が大部分であり、行政や関係者と連携を図りながら相談援助活動に努めてまいります。また、各種事業や活動を通じて住民の悩みに速やかに相談にのり適切な助言・支援等を合わせて行ってまいります。

北海道社協からの受託事業であります、判断能力が十分でない方の金銭管理等を支援する日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)は、利用要望に対応しうる体制を整え、生活支援員の確保等実施体制の万全を期してまいります。

### (7) 介護保険事業所の健全運営

介護保険事業(通所、居宅、訪問)は、利用者満足度アンケートにおいて高い評価を受けており、今後においても利用者の声を受け止め親しまれる介護サービスの提供に努めてまいります。

しかし、介護報酬の減額改正や利用者の減少傾向から収支の均衡を図ることが困難な状況となっており、この間、運営方法の見直しを図り改善に努めてきましたが、その改善には至っており

ません。

今後の介護報酬の動向は不透明であり、より一層慎重な事業運営の在り方が求められることから、各事業所の収支の均衡を基本に、介護保険事業総体として運営方法について検討してまいります。

### (8) 財源の確保と財政の確立

八雲町社協は、町からの運営補助金、在宅福祉サービス等の委託金、介護保険事業にともなう介護報酬、町民等からの愛情銀行への寄附金、更には住民の理解と協力を得た自主財源であります個人会費・賛助会費・特別会費及び共同募金助成金など多様な公的財源により運営されております。会費などの自主財源は、人口減少や長引く経済不況により厳しい状況にありますが、役員一丸となって財源確保に努めてまいります。

#### ① 会費納入について

自主財源の中で大きな割合を占める会費については、引き続き住民や町内会等の理解を得ながら個人会費の納入と賛助会費・特別会費の加入促進に努めてまいります。

#### ② 共同募金への協力

住民の善意と助け合いの精神により、地域福祉推進の取り組みの財源を支える赤い羽根共同募金は、社協が行っている各種団体助成金の原資であり重要な財源であります。そのため、八雲町共同募金委員会が実施する募金活動に対し積極的に参加し支援協力してまいります。

#### ③ 基金・積立金について

社協には、資本金となる基本財産のほか、福祉基金、財政調整基金、人件費積立金、備品等購入積立金及び退職手当引当金があり、その管理には八雲町社協資金管理運営方針等に基づき万全を期してまいります。また、資金状況に応じ積立と基金設置目的に沿い有効活用を図ってまいります。

### (9) 社協組織運営の充実

#### ① 啓発・広報活動

「社協だより」、「支所だより」を年4回発行し、

各種事業や活動の周知を図り社協活動の啓発に努めてまいります。また、ホームページを活用した広報活動も行っています。

#### ② 組織運営の充実

評議員会、理事会の開催を通して、法人運営や事業推進の方向性を決定するとともに、監査の実施により法人運営の適正化を図ってまいります。また、必要に応じ各委員会及び正副会長会議を開催し個別対応を図ります。更には研修会への参加や関係団体との交流等を通じて情報収集に努め地域福祉を推進する団体との役割・機能を発揮し、地域に理解と信頼を得られる社協づくりに努めてまいります。

職員研修会を年2回開催するなど、職員の資質向上と専門性の確保に努めてまいります。

#### ③ 地域間交流の促進

平成26年度より開催している渡島噴火湾社会福祉協議会(鹿部町・森町・八雲町・長万部町)連絡協議会に積極的に参加し、近隣社協との連携・交流を一層推進してまいります。

また、八雲・熊石両地域の交流についても、引き続き各種行事・事業等の相互参加等を図りながら、交流促進を推進してまいります。

### (10) 町からの受託事業の実施

町からの受託事業は次のとおりとなっております、遺漏のないよう努めてまいります。

① 八雲町総合保健福祉施設シルバークラザ管理業務

② 寝たきり高齢者等移送サービス事業(八雲・熊石地域)

③ 高齢者等給食サービス支援事業(八雲地域)

④ 緊急通報体制整備事業(八雲・熊石地域)

⑤ 生きがいデイサービス運営事業(八雲地域)

⑥ 要介護認定訪問調査事業(八雲地域)

⑦ 介護予防サービス計画及び介護予防ケアマネジメント作成業務(八雲地域)

⑧ 独り暮らし高齢者訪問事業(熊石地域)



## 会費納入

### 全戸加入のお願い！

当社協は、町民皆様のお力添えに支えられながら、地域福祉、在宅福祉そして介護保険事業所の運営を推し進めております。

社協の運営財源は、町民皆様から収めていただく会費、町補助金、受託事業の受託金、赤い羽根共同募金の配分金、そしてボランティアセンター（愛情銀行）によせられた寄付金（浄財）、介護報酬等により賄われています。

主な使い道は、職員の人件費、介護保険事業、毎年開催するふれあい広場事業（敬老会）、在宅福祉事業（移送サービス事業、給食宅配事業、緊急通報システム設置事業等）、会報（社協だより）発行事業、各種福祉団体、青少年団体への助成事業等に使われております。

お願いする会費は次のとおりです。

#### ◎一般会費 五〇〇円

本年度もご理解賜りご協力下さるようお願いするとともに、全戸加入下さるようご協力をお願いします。

#### ◎賛助会費 一口三、〇〇〇円

後日、社協役職員がお伺いいたしますので、社協の地域福祉事業にご理解いただき、一口以上のご配慮下さるようお願いいたします。

## 平成28年度 熊石地域の中学生

### 冬休み体験ボランティア事業



八雲町社会福祉協議会では、熊石地域の中学生を対象に冬休み中の体験ボランティア事業を実施いたしました。

福祉現場での体験ボランティア事業は、相沼保育園、熊石保育園、ヘルパーとふれあい訪問を1月11日（水）と12日（木）の2日間実施しました。

相沼保育園に参加した熊石第二中学校の生徒さんは、避難訓練や年長さんと一緒に「卒園アルバム」を作っていました。

また、熊石保育園に参加した熊石第一中学校の生徒さんは、園児とたくさん遊んで交流を持ちました。

ホームヘルパーとふれあい訪問に参加された生徒さんは、高齢の方とお話をしたり家事のお手伝いをしました。

ふたつの中学校の生徒さんは、それぞれに温かく微笑ましい2日間を過ごしたのではないかと感じました。



# 平成28年度 ボランティアスクール開催



平成29年3月4日(土)シルバープラザにて、平成28年度ボランティアスクールが開催されました。

ボランティアスクールは毎年開催され、ボランティアの意義を再確認するとともに、ボランティアのネットワークづくりやボランティア参加者の知識・資質向上を図ることを目的としています。

八雲町民、八雲町ボランティア団体連絡協議会会員、ボランティアに関心のある方、また八雲町内の小中高生が参加可能です。今年は54名が参加しました。



午前の部に札幌在住の北海道カラーデザイン研究室代表色彩療法士協会代表理事カラーコーディネーター外崎由香氏を迎え講演していただきました。

外崎氏は全国さまざまところで講演会を行っています。

今回の講演では色を通して、人との関わりや心の関係、また色を使って現れる印象や効果などについて講演していただきました。

自分の肌の色で自分を生かす服の色はなにかなど自分に合った色を皆さん教えていただきました。

講演の最後には神経衰弱方式のカードゲームを行い、遊びを取り入れた講演をしていただき、最後まで楽しみながら学べる講演になりました。



午後の講師は函館の方で笑うヨガするべの会代表佐藤英代氏による講演です。佐藤氏は現在長万部町で消防長という職務についていながら、ボランティア活動として笑いヨガの講演をさまざまところでを行っています。

健康のために笑う、笑うから健康、笑うことがいかに大事かを講演していただきました。毎週のようにさまざまところで講演をしている佐藤氏は忙しい中お越しいただきました。

参加された方々からも「話には聞いていたがこんなに楽しいとは思わなかった」と笑いが止まらないほど大いに盛り上がり、冬とは思えないくらい会場はほかほかに温まりました。

